

TARO

TARO OKAMOTO MUSEUM OF ART, KAWASAKI

川崎市岡本太郎美術館広報誌

2025 年 10 月・11 月・12 月

Vol. 92



岡本太郎《夢の鳥》1977年



《夢の鳥》を制作中の岡本太郎(1976年)

《夢の鳥》は、岡本太郎デザインによるティーセットです。1977年に三郷陶器株式会社より販売されました。

岡本は、生活のなかに機能性だけではなく、夢や彩りが必要だと考え、器、照明、家具、テキスタイルなど、様々なデザインを手がけました。

本作の制作にあたり「目の前の器がきまりきったものでは何かつまらない。いつも、新しい発見。そんなよろこびがほしい。」と言葉を残しています。ティーポットは時を告げる親鳥、シュガーポットは卵を、カップやクリーマーは親鳥を囲むように集まるひな鳥をイメージしているそうです。親鳥の立派で厚みのある鶏冠や肉髯、くちばしは愛らしく、生活のなかにも生命感あふれる遊びを創造したいという岡本の思いが表れているように思えます。

また、リアルな鶏の恰好になったらつまらない、鶏であると同時に鶏を否定しているものにしたいという思いも反映されており、岡本が提唱した「対極主義」の一端を感じることのできる作品です。ぜひ当館にて岡本太郎の絵画、彫刻、陶器、プロダクトデザインなど多彩なコレクションをお楽しみください。（加藤志帆）

Contents 目次

常設展

「岡本太郎 生きることは遊ぶこと」

次回企画展

「第29回岡本太郎現代芸術賞(TARO賞)」

イベント情報

美術館カレンダー

常設展

会期:2025年10月28日(火)～2026年3月29日(日)

「岡本太郎 生きることは遊ぶこと」

Taro Okamoto : Living is Playing

休館日：月曜日(11月3日、11月24日、1月12日、2月23日を除く)、11月4日(火)、11月25日(火)、

12月29日(月)～1月3日(土)、1月13日(火)、2月12日(木)、2月24日(火)ほか臨時休館あり

観覧料：2026年1月31日(土)～3月29日(日) 企画展とのセット料金 一般 700 (560) 円、高・大学生・65 歳以上 500 (400) 円、中学生以下は無料
2025年10月28日(火)～2026年1月30日(金)常設展のみ開催 一般 500 (400) 円、高・大学生・65 歳以上 300 (240) 円、中学生以下は無料
※() 内は 20 名以上の団体料金 ※企画展開催中は、企画展とのセット料金に変わります。

「生きるということ自体、遊びではないか。

われわれはひたすらに、生きるために生きている。」*

何事に対しても全身全霊で挑み続けた岡本太郎。絵を描くこと、彫刻を彫ること、文章を書くこと、写真を撮ること、ピアノを弾くこと、スキーやテニスに熱中すること、旅すること……。ジャンルを超えた岡本の芸術活動と生き方の根底には「遊び」の精神が息づいていました。

岡本は、20代を過ごしたパリにて世界のあらゆる文化や思想に触れ、パリ大学にてマルセル・モースのもと民族学を学んだ経験を通じて、人間の文化・生活における「遊び」について考えるようになります。例えば「まつり」を宗教や政治、芸術すべてを集約した真剣な「遊び」と捉え、旅行や遊学は「自由に動くことは遊びの最たるものの一つ」*であると述べています。

岡本の言う「遊び」とは、単なる娯楽や余暇ではなく、自身の全存在を賭けて勝負するものでもありました。岡本が手がけた多くの作品にはその精神が表れていると言えます。

本展では、岡本太郎の人生と芸術における「遊び」をキーワードに、当館のコレクションから岡本太郎ファン必見の代表作を中心にをご紹介します。

*「芸術と遊び―危機の接点」『原色の呪文』(1968年、文藝春秋社)より

●関連イベント 担当学芸員によるワンポイントトーク ※開催日時はホームページにてご案内します。



岡本太郎《森の掟》1950年



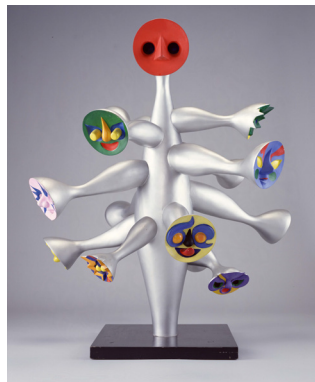
岡本太郎《遊ぶ子》1954年



岡本太郎《若い時計台》1966年



岡本太郎《よろこび》1982年



岡本太郎《こどもの樹》1985年



岡本太郎《縄文人》1982年

次回企画展

会期:2026年1月31日(土)～3月29日(日)

「第29回岡本太郎現代芸術賞(TARO賞)」

休館日：月曜日(2月23日を除く)、2月12日(木)、2月24日(火)、ほか臨時休館あり

観覧料：一般 700 (560) 円、高・大学生・65 歳以上 500 (400) 円、中学生以下は無料

※() 内は 20 名以上の団体料金

時代を創造する者は誰か！

1954年、岡本太郎43歳のときに出版された『今日の芸術』。この本には、「時代を創造する者は誰か」というサブタイトルがつけられていました。

1996年、岡本太郎没、享年84歳。その直後、岡本太郎記念現代芸術大賞（2006年岡本太郎現代芸術賞に改称）、通称「TARO賞」が創設されました。彼の遺志を継ぎ、まさに「時代を創造する者は誰か」を問うための賞。

今年は第29回をむかえます。芸術の新しい可能性を探る、「ペラポーナ」(太郎がよく使った言葉です)作品をご覧ください。

主 催：公益財団法人岡本太郎記念現代芸術振興財団・川崎市岡本太郎美術館

審査員：榎木野衣、土方明司、平野暁臣、山下裕二、和多利浩一、福田美蘭(ゲスト審査員)



第28回岡本太郎現代芸術賞展 展示風景

改修工事に伴う展示室での展覧会休止について

2026年3月30日から2029年3月31日(予定)まで、改修工事に伴い展示室での展覧会を休止します。

館内展示室での展覧会は休止しますが、改修工事に影響のない範囲で、当面の間、館の一部エリアを活用した作品展示やワークショップのほか、アウトリーチの取組を行う予定です。

カフェテリアTARO及びミュージアムショップの営業等を含め、詳細は決まり次第当館ホームページでお知らせします。

	企画展	常設展	イベント
10月	「戦後80年《明日の神話》次世代につなぐ 原爆×芸術」 7月19日(土)～10月19日(日)	「岡本太郎 生きることは遊ぶこと」 2025年10月28日(火)～ 2026年3月29日(日)	●はいはい&よちよち美術館ツアー 10月8日(水) ●美術館でフラワーレッスン Vol.37 「Dress Up Halloween」 10月11日(土)
11月			●岡本太郎を巡る雑談型アート観賞 11月1日(土) ●美術館でフラワーレッスン Vol.38 「クラシックモダンなノエルのリース」 11月8日(土) ●はいはい&よちよち美術館ツアー 11月12日(水) ●使えない道具を作ろう! 11月16日(日)
12月			●とことこ美術館ツアー&ワークショップ ～音で遊んで身体やわらか～ 12月7日(日) ●美術館でフラワーレッスン Vol.39 「升の言寿ぎ」 12月20日(土)



川崎市 岡本太郎美術館

Taro Okamoto Museum of Art, Kawasaki

〒214-0032 神奈川県川崎市多摩区枋形 7-1-5 生田緑地内
TEL：044-900-9898 FAX：044-900-9966
<https://www.taromuseum.jp>

公式 X

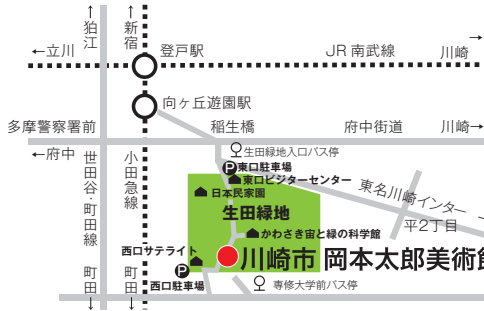
公式 Facebook

公式 Instagram

公式ホームページ

利用案内

開館時間 9:30～17:00(入館は16:30まで)
休館日 月曜日(祝日は除く)、祝日の翌日(土曜・日曜は除く)、
年末年始、他に展示替えによる休館日あり
観覧料 展覧会ごとに異なります。



交通案内

●小田急線向ヶ丘遊園駅
ー南口から徒歩17分
ー南口から市バス3分
(5番のりば・溝口駅南口行・溝19系統(1時間に1～2本))
「生田緑地入口」下車・徒歩8分
ー南口からタクシー4分(日本民家園前下車)徒歩5分
ー北口から小田急バス10分
(2番のりば・専修大学前行・向10系統(1時間に2～6本))
終点「専修大学前」下車・生田緑地西口園路
(通行可能時間8:00～17:30)を通して徒歩6分
※向ヶ丘遊園発のバス停の位置情報は区画整理の影響で変更になって
いる場合があります。事前にご確認下さい。
●車利用の場合は、生田緑地東口・西口駐車場(有料)をご利用ください



この施設の運営には
宝くじの収益金の一部が
使われています。川崎市

はいはい&よちよち美術館ツアー

小さいお子さんとご家族のための鑑賞ツアーです。太郎さんの作品を
お子さんと一緒にゆったりと楽しみませんか。

10月8日(水)、11月12日(水) 10:30～11:30

対象 3カ月～3才までのお子さんご家族の方
定員 8組
場所 常設展示室 **料金** 無料(保護者のみ要観覧料)
申込 電話受付(10/8は9/25(木)、11/12は10/29(水)
10:00から受付開始)、先着順



岡本太郎を巡る雑談型アート観賞

ほとんど目の見えていない石井健介さんがファシリテーターとなり、
見える世界と見えない世界をつなぐ雑談をしながらのアート観賞を
するプログラムです。みんなでワイワイとお話ししながら、新しい岡本
太郎に会いにいきましょう。

11月1日(土) ①11:00～11:40 ②13:30～14:10

講師 石井健介(ブラインド・コミュニケーター)
対象 小学3年生～大人 **定員** 各回10名 *付添1名まで
場所 ガイダンスホール・常設展示室 **料金** 無料(要観覧料)
申込 電話受付(10/1(水)10:00から受付開始)、先着順
*ロービジョンの方、目のみえない方もご参加いただけます。



つか使えない道具を作ろう!

TARO作品の鑑賞体験をベースに、「もともと使えるはずのもの」をあえて
使えなくした不思議な道具を作ります。道具のモチーフは、フォーク
や鉛筆、上履きなどで、くじ引きで決めます。

11月16日(日) ①10:00～12:00 ②13:30～15:30

対象 小学生以上(小学3年生以下は要保護者同伴)
講師 野村絵梨(第27回TARO賞入選作家・彫刻家)
定員 各回8名 **料金** 1000円+要観覧料
場所 ガイダンスホール・展示室・創作アトリエ
申込 電話受付(10/31(金)10:00から受付開始)、先着順



とことこ美術館ツアー&ワークショップ

～音で遊んで身体やわらか～

小さいお子さんと楽しむ音のワークショップ。太郎さんの作品を一緒
に見て、音あそびを楽しみましょう。

12月7日(日) 10:30～12:00

対象 3才～未就学のお子さんとそのご家族(付添い2名まで)
講師 寒川晶子(ピアニスト) **定員** 7組
場所 ガイダンスホール・展示室・創作アトリエ
料金 無料(要観覧料)
申込 電話受付(11/21(金)10:00から受付開始)、先着順



第14回 キッズTARO募集&展示

テーマ「未来を見た」

美術館では岡本太郎作品と共に子どもたちの絵画作品を
飾る、「キッズTARO展」を今年も開催します。
今回のテーマは「未来を見た」。皆さんの不思議な「未来」の
世界をお待ちしています。

募集期間 10月1日(水)～10月19日(日)*消印有効
展示期間 11月1日(土)～11月30日(日)
募集資格 中学生以下
展示場所 ギャラリースペース(無料スペース)
作品サイズ 四つ切サイズ(38cm×54cm・縦横自由)以内

※応募の方法などの詳細は美術館ホームページをご覧ください。



岡本太郎《未来を見た》1971年



美術館でフラワーレッスン

10月11日(土)
Vol.37「Dress Up Halloween
～エレガントシックなハロウィンアレンジメント～」

エレガントでシックな雰囲気を纏ったハロウィンアレンジメントを作りましょ
う。赤ワインを思わせるバーガンディカラーに、ピンクやロゼなどジュシーな
色あいのお花や実物を合わせ、蓋つきのパンプキン型の器にアレンジします。
(9/17(水)10:00受付開始)



※画像はイメージです。

11月8日(土)

Vol.38「クラシックモダンなノエルのリース
～赤とブルーが奏でるクラシックモダンな調べ～」

フレッシュな針葉樹を巻いて作るリースに、伝統的なクリスマスカラーのオー
ナメントとブルーのアクセントを入れ、クラシカルでありながらモダンな雰
囲気に仕上げます。(10/17(金)10:00受付開始)

※画像はイメージです。



12月20日(土)

Vol.39「升の言寿ぎ～カラフルなお正月の装い～」

お正月レッスンは、八角形の升の器に朝日が顔を出して冬の空を徐々に明るく
照らしていくイメージのアレンジメントを作ります。卓上に置いても、横置きで
壁飾にしても飾れます。明るく華やいだ気分でお正月を彩りましょう。
(11/19(水)10:00受付開始)

